

## DLA 〈聴く〉の概要

### (1) 目的

- **DLA 〈聴く〉** で測る「聴く力」とは、教科学習に必要な聴く力、つまり学習の場での教師の説明等まとまった内容の話を聴いて理解でき、聴いた内容を整理し活用できる言語能力と考えます。日々の学習の場面では聴くことが多くの時間を占めていることから、聴く力は教科学習に不可欠な言語能力と言えます。
- **DLA 〈聴く〉** では、対話を通して児童生徒の聴く力の現状を把握し、そこから、児童生徒の授業参加への可能性を探ることを目指しています。

### (2) 対象

- **DLA 〈聴く〉** は、会話力があるが、授業内容の理解が難しい児童生徒を対象とします。次のような場合に有効です。
  - 1) 入学・転入時に、まとまった内容の話をどの程度聴けるか確かめたい場合。
  - 2) 取り出し指導をしているが、まとまった内容の話をどの程度聴けるか確かめたい場合。
  - 3) クラスに在籍しているが、授業を聴いてどの程度理解しているか判断しきれない場合。
- **DLA 〈聴く〉** の測定は、JSL評価参照枠のステージ3から始まります。そのため、〈はじめの一步〉でほとんど受け答えが成立しなかった子どもには実施できません。

### (3) 方法

- 児童生徒は、ふだん教室の中で音声言語だけでなく教師の表情や声の調子、教師とのやり取り、図表・絵・写真、教師の板書等のさまざまなヒントを得て、また児童生徒自身の体験、既存知識等を活性化させることにより内容を聴き取り理解しています。そこで、**DLA 〈聴く〉** では、教室活動や教科のテーマに関わるまとまりのある内容の話を**DLA 〈聴く〉** 映像（以下、聴解用DVD）を作成しました（別添資料）。
- まず概要を読んで、児童生徒の年齢枠やその他の状況を踏まえて、使用可能なテーマの聴解用DVDを選びます。その際、p107の内容の説明や巻末資料のスク립トを参照してください。それから視覚補助教材（巻末資料）を選びます。
- 次に、**DLA 〈聴く〉** 実践ガイド（p111-126）にそって聴解用DVDを聴かせ、評価者と一対一での対話を通して、話の大筋をどの程度理解しているか測ります。
- 児童生徒はまだ未熟な会話力を使って話すので、測定に当たっては、評価者は児童生徒の表現する内容を推測する必要があります。

### (4) 構成

- **DLA 〈聴く〉** は、次の4つからなっています。

#### ① 「DLA 〈聴く〉 聴解用DVD」

8本の映像を収録した聴解用DVDがあります。児童生徒の年齢、滞日年数、日本語のレベル等を考慮し選びます。

#### ② 「DLA 〈聴く〉 実践ガイド」（p111-126）

聴解用DVDに対応した**DLA 〈聴く〉** の実践の手引きです。評価者は、ここに書かれている手順、声かけ、発問例に従って進めます。

#### ③ 「DLA 〈聴く〉 診断シート」（p127-134）

**DLA 〈聴く〉** を実施したあと、採点・評価します。

#### ④ 「JSL評価参照枠〈聴く〉」（p135）

採点・評価で診断シートに記入した結果を、JSL評価参照枠「聴く」に照らし合わせて、ステージを決定します。

## (5) 実施の前に

### 用意するもの

- ・ **DLA** 〈聴く〉の実施には以下のものを用意します。
  - ・ 選択した聴解用DVD
  - ・ 聴解用DVD のための視覚補助教材
  - ・ 映像を映し出すコンピュータ
  - ・ 録音機器
  - ・ 聴解用DVDに対応したDLA 〈聴く〉実践ガイド（ p111-126 ）
  - ・ メモ用紙と筆記具（高学年以上）

### 使用する聴解用DVDの選択方法

- ・ **DLA** 〈聴く〉では、以下の計8本の映像を収録した聴解用DVDを別添資料として用意しました。下の【聴解用DVDの対象年齢】の表を参考にし、児童生徒の年齢、滞日期间、入国年齢、日本語レベル等を考慮して選びます。

#### 【聴解用DVDの対象年齢】

| DVDの種類 | DVDの番号 | 内容<br>年齢枠   | 対象の年齢枠        |               |                |                 |                  |
|--------|--------|-------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|------------------|
|        |        |             | 6-7歳<br>(1年生) | 7-8歳<br>(2年生) | 8-10歳<br>(中学年) | 10-12歳<br>(高学年) | 12-15歳+<br>(中学生) |
| A      | 1      | 「えんそく」      | ◎             | ○             | ○              |                 |                  |
|        | 2      | 「うんどうかい」    |               | ◎             | ◎              | ○               | ○                |
|        | 3      | 「工場見学」      |               |               |                | ◎               | ◎                |
| B      | 4      | 「えんそくのおしらせ」 | ◎             | ○             | ○              |                 |                  |
|        | 5      | 「トマトのさいばい」  |               | ◎             | ○              | ○               | ○                |
|        | 6      | 「ごみのゆくえ」    |               |               | ◎              | ○               | ○                |
|        | 7      | 「エネルギー」     |               |               |                | ◎               | ○                |
|        | 8      | 「地震」        |               |               |                |                 | ◎                |

- ・ 表中の◎印は年齢に基づいたテーマ選択の目安ですが、子どもに応じて○印のテーマを選んでもかまいません。
- ・ 聴解用DVDは、JSL児童生徒に対する授業のモデルとして作成されたものではありません。JSL児童生徒を意識した授業の一端を示した授業例とお考えください。

#### 【聴解用DVDの内容】

- ・ 聴解用DVDは、**A**、**B**の2種類あります。
  - A 初歩レベルのまとまりのある話を聴く力を測るための聴解用DVD**（上記表の映像の番号1～3）
    - ・ 聴解用DVDの1～3は、取り出し教室での行事の連絡の場面を映しています（各1分）。
    - ・ 年齢枠によりトピックが変わります。
  - B 教科の授業を聴く力を測るための聴解用DVD**（上記表の映像の番号4～8）
    - ・ 聴解用DVD4は、朝の会、帰りの会等、教室活動の一部を、聴解用DVDの5～8は、教科のテーマに関連した授業の一部を映しています（各3～5分）。
    - ・ 聴解用DVDの5～8は、次のような教科の中のテーマに基づいてリライトしたものです。
      - 5「トマトのさいばい」（小2「せいかつ」）
      - 6「ごみのゆくえ」（小4「社会」）
      - 7「エネルギー」（小6「国語」）
      - 8「地震」（中2「科学」）

- ・児童生徒の聴く力をより適正に測るために、基本的には、**A**、**B**の2種類のDVDを聴かせることをお勧めします。しかし、ふだんの観察から判断して**B**から始めてもかまいません。
- ・**B**の聴解用DVDを使用する場合は、まず、年齢より一段、または二段下のDVDを聴かせた方がよいでしょう。それらが理解できるようであれば、段階を上げて聴かせてみましょう。
- ・聴解用DVDのSCRIPTは巻末を参照してください。

| テーマ          | 内容  |
|--------------|---|
| 1「えんそく」      | 小学校低学年の児童向け。教師が遠足について、いつ行くか、どこへ行くか、どのように行くか、絵を見せながら話しています。  |
| 2「うんどうかい」    | 小学校低・中学年の児童向け。教師が運動会について、運動会の日、参加する種目、服装、当日の給食のことを絵を見せながら話しています。  |
| 3「工場見学」      | 小学校高学年以上の児童生徒向け。教師が工場の見学について、いつ行くか、何の工場へ見学に行くか、何を持っていくか絵を見せながら説明しています。  |
| 4「えんそくのおしらせ」 | 小学校の低学年児童向け。学校での朝の会、帰りの会での遠足の連絡がテーマとなっています。教師が児童に5月10日に予定されている遠足について、行く日、行き先、持ち物を説明しています。   |
| 5「トマトのさいばい」  | 小学校低・中学年の児童向け。まず、今日の授業でやること（外に出てトマトの栽培をする）について、教師が手順を説明しています。また、トマトがこれからどう育っていくのか、育てるときの注意事項についても説明しています。   |
| 6「ごみのゆくえ」    | 小学校中学年・高学年の児童向け。「ごみのゆくえ」の授業の導入の部分を扱っています。教師は、清掃車の人の服装の特徴から話を始め、次に、1週間かけて調べてきたそれぞれの家庭のごみ調べの結果を子どもたちに言わせ、要点を黒板にまとめています。これから、ごみのごみ処理センターでどう処理されるのか見ていくというところで授業は終わっています。                     |
| 7「エネルギー」     | 小学校高学年以上の児童生徒向け。教師は、過去、現在の日本のエネルギーを示す2枚のグラフを示して比べながら、エネルギー源が変わってきていることを説明しています。さらに、2011年3月の東北大地震により日本のエネルギー状況がまた変わるかもしれないと述べています。最後に、アイスランドのエネルギーのグラフを示し、将来の日本のエネルギー源がどうなるか児童生徒に考えさせています。 |
| 8「地震」        | 中学生向け。地震についての授業の導入部分を取り上げています。教師は、昨日の地震から話を始めています。震度とマグニチュードの違い、震度表に示された地震の揺れの程度、また、地震計により測定された地震のデータから地震のゆれの特徴について、板書、図表、データを示しながら、生徒とやり取りをしながら説明しています。                                  |

## 視覚補助教材

- ・聴解用DVDの内容の理解を助けるために、視覚補助教材が用意されています。
- ・聴解用DVDを視聴する前に、必要に応じて、視覚補助教材を使ってそれぞれのテーマのキーワードを確認します。
- ・視覚補助教材は、子どもの状況に応じて必要なものだけをご使用ください。全部使うと、時間がかかりすぎるおそれがあります。
- ・次に、視覚補助教材とキーワードの例を示します。ご使用の際の参考としてください。
- ・なお、キーワードの例の中には、「体育の服」「ごみ処理センター」等、各地で呼び方の異なるものが含まれています。それぞれのところで使われている名称をお使いください。

【視覚補助教材】

|   | テーマ         | 視覚補助教材と教材番号  | キーワード例                                      |
|---|-------------|--|---|
| 1 | 「えんそく」      |     | 遠足（に行く）、あした、さくら山、バス（で行く）…                   |
| 2 | 「うんどうかい」    |    | 運動会、走る、体育の服（体操服）、給食…                        |
| 3 | 「工場見学」      |   | 自動車工場、工場見学（に行く）、来週、お弁当、ノート…                 |
| 4 | 「えんそくのおしらせ」 |  | 遠足、（大）公園、山に登る、水筒、お弁当…                       |
| 5 | 「トマトのさいばい」  |   | トマトのさいばい、土（を入れる）、植木鉢、トマトの苗、芽（のがびる）、棒（を立てる）… |
| 6 | 「ごみのゆくえ」    |   | ごみ収集車、燃やすごみ、生ごみ、ペットボトル、ごみ処理センター…            |
| 7 | 「エネルギー」     |  | エネルギー、エネルギー源、石油、原子力、アイスランド、太陽…              |
| 8 | 「地震」        |  | 地震、震度、マグニチュード、地震の揺れ、地震計、地震の特徴…              |

## (6) 実施手順

- ・実践ガイドにしたがって、「聴く前に」「聴きましょう」「聴いたあとで」の順に進めます。

### ① 聴くまえに

- ・聴解用DVDを視聴する前に、必要に応じて視覚補助教材を示して、話のテーマ、キーワードの理解を深めます。
- ・また、テーマについて質問し、児童生徒の関心を引き出します。

### ② 聴きましょう

- ・映像は原則として1回見せます。周辺がうるさかったり、メモ取りに集中しすぎたり等、何らかの事情で途中、問題が生じた場合は、初めから聴かせてください。
- ・聴解用DVD視聴中にわからない言葉があったら、聴き終わった後で質問するように指示します。
- ・聴解用DVDを視聴している間、評価者は児童生徒がどのように聴いているか観察してください。

### ③ 聴いたあとで

#### 【話の大筋再生】

- ・児童生徒が、聴解用DVDの話聴いてどのくらい話の内容が理解できたか、話の大筋を児童生徒に言わせませす。「DLA〈聴く〉実践ガイド」(p111-126)にある「大筋再生チェックリスト」を参考に、どのくらい再生できたかチェックします。リストにあるもので、触れなかったものは、質問して答えを引き出します。
- ・文で答えられなくても、「大筋再生チェックリスト」にある下線の語が再生できれば、内容が理解できていると考えます。
- ・暗記チェックではないので、話の大筋が大体言えればよいとします。

#### 【感想・意見】

- ・聴解用DVDの話聴いて、どう感じ、思ったか児童生徒に言わせませす。評価者は、児童生徒の発話を最大限引き出すようにしてください。

#### 【母語の聴く力】

- ・母語力の高い児童生徒には、母国の学校での様子を聴き、母語での聴く力を探ります。

## (7) 実施上の留意点

- ・児童生徒の質問に対しては、短い単文でわかりやすく説明します。
- ・児童生徒が答えに詰まる時は、答えを引き出すように努めましょう。
- ・児童生徒が答える時、うろ覚えの言葉を繰り返したら正解を与えてください。
- ・小学校高学年以上の児童生徒で希望する場合、聴いている時にメモを取らせてもいいですが、メモを取ることに集中しすぎないようにしましょう。
- ・児童生徒の日本語レベルに関わらず、最後には、まとまった内容の日本語を「聴いた」ということを高く評価して終わってください。

## (8) 評価の方法

- ・DLA〈聴く〉が終了したら、採点・評価にうつります。
- ・DLA〈聴く〉の測定で予想できるのは、ステージ(3~5)までと考えます。
- ・児童生徒の学習参加への可能性は、DLA〈聴く〉の測定結果だけでなく、他のDLAの技能の結果やふだんの学習活動の状況ともあわせて総合的に判断します(p140)。

## 用意するもの

- ・聴解用DVDに対応した**DLA**〈聴く〉診断シート（p127～134）
- ・JSL評価参照枠「聴く」

## 評価手順

- ・**DLA**〈聴く〉診断シートに示された評価項目について、5点（とてもよい）、3点（ふつう）、1点（もう少し）で採点します。判断に揺れる場合は、2点、4点をつけてもかまいません。
- ・総合得点の平均点を算出します。
- ・それぞれの診断シートに記された評価点を、JSL参照枠「聴く」（p135）に照らし合わせて、また、ふだんの学習活動の様子も踏まえて、総合的にステージ（3～6）を判定します。

## 評価の項目とJSL評価参照枠との関係

- ・**DLA**〈聴く〉では、JSL評価参照枠〈聴く〉に沿って、下の表の「聴解力」、「聴解行動」、「語彙・表現」を評価基準とします。
- ・測定の時、基本的には聴解用DVDの**A**と**B**の両方を聴かせますが、**A**の聴解に問題なければ、**A**についての評価は必要ありません。**B**について評価してください。

|       | 評価項目          | 測定の内容                        |
|-------|---------------|------------------------------|
| 聴解力   | 教師の話の内容の大筋と流れ | 教師の話の大筋と流れが大体理解できたか          |
|       | 感想・意見         | 聴いた内容について感想や意見が言えたか          |
| 聴解行動  | 集中            | 集中して最後まで聴けたか                 |
|       | 関心            | 関心をもって聴けたか                   |
|       | 未習語           | 未習語があっても推測して聴こうとしたか          |
| 語彙・表現 | テーマに関わる語彙・表現  | テーマに関わる語彙・表現が大体理解できたか        |
|       | 大事な語彙・表現      | 教師の話の中の大事な語彙・表現が理解でき、使おうとしたか |